

<PRESS RELEASE>

2021年12月21日(火)
一般社団法人高畑トラスト

奈良市高畑町の文化財建築「藤間家住宅」が企画する仮想世界のアートフェア ～デジトーマ 2021～

記

かつて春日神官の住居であった奈良市高畑町の歴史建築「藤間家（とうまけ）住宅」の改修を行う一般社団法人高畑トラスト（所在地：奈良県奈良市高畑町1325-1-1、代表理事：佐久間 信悟）が、この度、文化庁 ARTS for the future! の補助事業として、奈良県の後援のもと、アートフェア「デジトーマ 2021」を開催する。



【一般社団法人高畑トラストとは】

2017年7月、かつて春日神官たちが住み継いだ町である奈良市高畑町で当時倒壊が危ぶまれていた江戸後期の社家建築「藤間家住宅」保全のために発足。改修工事は奈良県文化資源活用補助金や朝日新聞文化財団の文化財保護助成などによって年々進められ、2020年度内において本屋の基礎工事が完了。2021年度内には文化財の門と土塀の改修工事を計画する。その活動では、ただ建築を改修するだけでなく、歴史と現代の文化が交差するアートの発信基地とするため、アーティストが作品展示や滞在制作を行うスタジオとしての活用を目指す。建築の改修もその歴史を構成する重要な要素の一つとして捉え、「改修途上のギャラリー」をコンセプトに、改修中の建築内を定期的に公開するなど当初より発信面にも力を入れている。

URL：<http://tomaunrestored.com/>

【デジトーマ 2021 とは】

デジトーマ 2021 は、奈良市の歴史建築、藤間家住宅で開催されるデジタル作品のアートフェア。50名を超えるオールジャンルのクリエイターが作品を展示し、販売も行う。企画目的は、新型コロナ禍のアーティストの救済と、文化財／文化資源の保全であり、各アーティストがVR空間に1点ずつデジタル作品を展示する。出品作品は、藤間家住宅や奈良の地に着想を得たものから、アーティストの心象風景を反映したものまで多様。実体を持たないデジタル作品群は、建築内の展示スペースにて、藤間家住宅に縁のある歴史オブジェクトとともにプロジェクション展示され、特設ウェブサイトとYouTube上の360°VRギャラリー（提供：NFTown）にて公開される。また、展示作品はブロックチェーン上でNFTとして販売され、売上の一部は文化財建築である藤間家住宅の保全に充てられるとともに、アーティスト達の活動資金となる。

【開催概要】

- ・名称： デジトーマ 2021/DIGITOMA 2021 (文化庁 ARTS for the future! 補助事業)
- ・日時： 2021年12月24日(金)～12月28日(火) 10:00～16:00
- ・場所： 藤間家住宅 (630-8301 奈良県奈良市高畑町 1325-1-1)
- ・入場： 500円/人 (現地特設スクリーン鑑賞及び展示鑑賞料) *オンラインギャラリーは鑑賞無料
- ・主催： 一般社団法人高畑トラスト
- ・後援： 奈良県
- ・協力： 株式会社ゼノトゥーン
株式会社垂裸眼
株式会社トーン
MASAKI MURATA DESIGN
アイガー株式会社
- ・URL： <http://tomaunrestored.com/>
- ・アーティスト (一部) :
EXCALIBUR
MuSuHi (三嶋章義×高岡春満)
白石寛也
ERINA
江原彩子
ヘルミッペ
洪田薫

【NFTownとは】

株式会社ゼノトゥーン(東京都渋谷区)による、企業・団体・地方公共団体向けのリアル・バーチャルイベントにおける NFT 販売事業支援サービス。



【本件の問い合わせ先】

団体名 一般社団法人高畑トラスト
電話番号 080-6636-6771

担当者名 代表理事 佐久間 信悟
E-mail shingosakuma@gmail.com

以上